

第1内科学総論

【Allergy, Immunology, Rheumatology, Infection, Endocrinology and Metabolism】

担当責任者（医学部長）

ねらい

アレルギー性疾患、全身性自己免疫疾患（膠原病、リウマチ性疾患）、免疫不全症、感染症の病因と病態を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法、及び治療法を習得する。殊に、発熱・全身倦怠感や関節痛などの全身症状や所見、全身の多臓器障害をもたらす症状と所見を、横断的、且つ多角的に習得することが要求される。

下垂体・甲状腺・副腎等によるホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とする代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得する。

糖尿病などの代謝疾患は全身疾患であり、メタボリック症候群とされる疾患も多く、信頼される産業医として活躍するためにも、非常に重要な疾患であり、この疾患の最新の治療等について、できるだけ幅広く習得する必要がある。

いずれの講義も、モデルコアカリキュラムのみならず医師国家試験出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. 免疫監視機構の概念とその異常・不均衡がもたらすアレルギー性疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の病態機構を理解する。（Ⅱ-1, Ⅱ-5）
2. 各種病原体による感染の成立、感染予防、感染対策を列挙することができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-10）
3. アレルギー疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の症状、理学的所見、検査法、診断法、鑑別診断を系統立てて列挙し習得する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
4. 感染症については、新型コロナウイルス感染症などを含むウイルス感染症の予防（ワクチン）、診断、検査、治療の基本、ワンヘルスの概念も習得する。（Ⅰ-1, Ⅰ-5, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
5. 上記疾患群間に併発する病態、診断、治療、病態や治療による多臓器障害について系統的・多角的に理解する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
6. これらの疾患群、疾患群間に併発する病態の治療法を系統立てて列挙し理解する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
7. ホルモン概念、作用機構、その調節について理解する。（Ⅱ-1）
8. ホルモンの生理作用を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。（Ⅱ-1, Ⅱ-5）
9. ホルモン分泌及び作用異常症の概念とその症状、理学的所見、検査法、診断法、治療について習得する。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
10. 内分泌・代謝疾患の鑑別疾患を系統立てて列挙することができる。（Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教科書

1. Jamesonら編：Harrison's Principles of Internal Medicine 第21版 2022年 McGraw Hill出版
2. 矢崎義雄編：内科学 第12版 2022年 朝倉書店

○ 参考書

1. 日本リウマチ学会編：リウマチ病学テキスト改訂第3版 2022年 南江堂
2. 日本アレルギー学会編：アレルギー総合ガイドライン2022 2022年 協和企画
3. 谷田憲俊編：感染症学 改訂第四版 2010年 診断と治療社
4. 日本糖尿病学会編：糖尿病ガイド 2021～2022 文光堂
5. 寺本民生、片山茂裕 編集：内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
6. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集：内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社

3 年 次

講義:2401講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	3	免疫系の構成・機能、膠原病総論(Ⅲ-10, XI-2)	PE PS	03 01	02 03	01 18-28	中山田 真吾
10.3	金	4	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2)	PS	02 01	14 03	01-05 29	田中 健一
10.6	月	7・8	感染症(診断、検査、治療の基本、ウイルス感染症(新型コロナウイルス感染症含)) (V-4, XII-1)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
10.10	金	3・4	内分泌器官の構造・機能(Ⅲ-9)	PS	02	14	01	岡田 洋右
10.15	水	7・8	免疫と自己免疫(Ⅲ-10)	PE	03	02	01	熊ノ郷 敦(学外)
10.17	金	3・4	全身性強皮症、皮膚筋炎、MCTD、Sjogren症候群、リウマチ性多発筋痛症、IgG4関連疾患など(XI-2)	PS	03	02	01-05	久保 智史
10.20	月	1・2	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群(XI-3,4)	PS	01	03	27	齋藤 和義
10.20	月	7・8	寄生虫、プリオン、その他の病原体(XII-2-5)	PS	01	03	13, 26	清水 少一
10.29	水	3・4	関節リウマチと類縁疾患(悪性関節リウマチ、脊椎関節炎、成人Still病など)(XI-2)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
11.5	水	1・2	感染症(細菌感染症・ワンヘルスの概念、真菌感染症、性感染症、院内感染)(XII-1-5)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
11.5	水	3・4	下垂体前葉機能亢進症(X-1-E, F)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.5	水	7・8	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2-L, M)	PS	02	14	01-05	田中 健一
11.11	火	1・2	下垂体前葉機能亢進症(X-1-G, H, I)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.12	水	3・4	下垂体前葉機能低下症(X-1-J, K, L)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.12	水	5・6	下垂体後葉・水代謝(X-1-M, N)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.18	火	1・2	アレルギー総論(医師国家試験出題基準 V-5)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.19	水	1・2	甲状腺ホルモンの生合成・分泌・機能検査(X-2)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.19	水	3・4	甲状腺機能亢進症、破壊性甲状腺炎(X-2-B, D)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.25	火	1	アレルギー性疾患(呼吸器アレルギー)(XI-1-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.25	火	2	アレルギー性疾患(全身性アレルギー)(XI-1-C-A)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.28	金	1・2	顕微鏡的多発血管炎、及び高安動脈炎、IgA血管炎、ベーチェット病、川崎病など血管炎を主とする類縁疾患(XI-2)	PS	03	02	01-05	宮川 一平
12.10	水	1・2	糖尿病(X-5-A)	PS	02	14	01-05	西田 啓子
12.10	水	3・4	甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎(X-2-B, D)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
12.17	水	3・4	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群(XI-2)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
12.17	水	6	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2)	PS	02	14	01-05	田中 健一
12.19	金	4	アレルギー性疾患(皮膚、粘膜アレルギー)(XI-1-B)	PS	03	02	01-05	澤田 雄宇(皮膚科学)
12.24	水	2	科目試験					